

山形 いぶき



YNA 夢・ナーシング・愛



甘〜い庄内柿

山形の秋 いろいろ



山 寺
面白山のコスモスベルグ

山形名物 芋煮



高速から見た月山の紅葉

TOPICS

- 山形県健康福祉部との業務推進懇談会
- 山形・最北支部活動
- トピックス「日本看護協会モデル事業」
- 最上地区ワーク・ライフ・バランス推進ワークショップ
- 訪問看護サービス提供体制整備事業
- 「外来看護」「看護師のクリニカルラダー」研修報告

平成30年度「日本看護協会通常総会・機能別交流集会」

- 期日：平成30年6月12日(火)～13日(水)
- 場所：神奈川県横浜市 パシフィコ横浜

平成30年度「山形県看護協会通常総会並びに職能研修会」

- 期日：平成30年6月22日(金)
- 場所：山形県看護協会会館・看護研修センター 3階第1研修室他

山形県看護協会ホームページ

<http://www.nurse-yamagata.or.jp>

県ホームページ「すまいる山形暮らし情報」からもリンクできます。

機種によってはアクセスできない場合があります



山形県看護協会



平成29年度会員数
(11月現在)

保健師	382
助産師	353
看護師	6,707
准看護師	212
計	7,654

「山形県健康福祉部との業務推進懇談会」を開催

公益社団法人山形県看護協会 副会長 吉田 美智子

平成29年9月4日(月)午後、山形県健康福祉部の阿彦忠之医療統括監をはじめ、地域医療対策課3名、健康長寿推進課の課長他2名、計7名の皆さまにおいでいただき、標記懇談会を開催しました。山形県看護協会からは会長はじめ役員22名、事務局5名が出席しました。

はじめに、井上会長から山形県看護協会の6つの重点事業等の説明をし、健康福祉部から県の重点事業「安心して健康長寿で暮らせる医療提供体制の充実(看護師確保対策等)」 「地域包括ケアシステムの構築に向けた取組みの推進」 「健康長寿日本一の実現に向けた取組みの推進」について説明がありました。

そして、今年度は、(1)地域包括ケアシステムの推進 (2)看護職の労働環境改善推進の強化 (3)少子高齢化社会に対応する人材育成 (4)継続した公益目的事業の展開 (5)職能委員会活動の充実と強化をテーマに意見交換をしました。県の重点目標「安心して健康長寿で暮らせる山形県」の実現には看護協会の存在が不可欠なことを再確認したと共に、看護協会の事業も県の理解を得てこそできることと実感しました。

110万山形県民のために、地域包括ケアシステムの構築や、少子高齢化に向けた対策に向け、県・山形県看護協会が共に協力していくことの必要性を確認した会議でした。



理事会等の開催報告

・平成29年7月20日(木) 第4回理事会

- 主な審議事項
1. 平成29年度「山形県健康福祉部との業務推進懇談会」情報交換の議題について <承認>
 2. 平成29年度山形県看護協会「地域の看護力強化支援事業」支援団体選考について <承認>
 3. 各職能委員会担当理事変更について <承認>

・平成29年10月19日(木) 第6回理事会

- 主な審議事項
1. 平成30年度山形県看護協会通常総会の日程変更について <承認>

・平成29年9月4日(月) 第5回理事会

- 主な審議事項
1. 平成29年度「山形県健康福祉部との業務推進懇談会」情報交換の議題について <承認>
 2. 平成30年度山形県看護協会通常総会の日程について <承認>
 3. 公益社団法人山形県看護協会「まちの保健室」事業実施要綱(案)について <承認>

平成29年7月中旬～10月下旬の山形県看護協会事業実施状況

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年7月25・26日(火・水) 飛島での「まちの保健室」 ・平成29年7月26日(水) 山形県保健師助産師看護師実習指導者講習会(特定分野)開講式(10名) ・平成29年8月1日(火) 訪問看護ステーション新庄サテライトまわる川開所式 ・平成29年8月4日(金) 認定看護管理者教育課程ファーストレベル開講(80名) ・平成29年8月12日(土) フレッシュ説明会・進学セミナー ・平成29年8月14日(月) 夏まつり ・平成29年8月23日(水) 認定看護管理者教育課程セカンドレベル開講式(21名) ・平成29年8月29日(火) 看護技術セミナー・ナースカフェ ・平成29年9月3日(日) 山形県・酒田市合同総合防災訓練 ・平成29年9月4日(月) 山形県健康福祉部との業務推進懇談会 ・平成29年9月7日(木) 全国准看護師制度担当役員会議 ・平成29年9月11日(月) 地域包括ケアシステムにおける訪問看護の新たな人材確保活用検討会 ・平成29年9月13日(水) 北海道・東北地区看護協会会長会議 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年9月14日(木) 山形県保健師助産師看護師実習指導者講習会(特定分野)開講式(10名) ・平成29年9月20日(水) 医療安全管理者養成講座開講式(63名) ・平成29年9月22日(金) 医療職のWLB推進ワークショップ(最上総合支庁にて) ・平成29年9月28日(木) 医療安全管理者養成講座開講式(63名) ・平成29年9月30日・10月1日(土・日) やまがた健康フェア ・平成29年10月5・6日(木・金) 地区別法人会・職能委員長会 ・平成29年10月6日(金) 都道府県看護協会支部役員等研修会 ・平成29年10月6・7日(金・土) 緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練 ・平成29年10月26日(木) ナースセンター事業運営委員会 ・平成29年10月31日(火) 平成29年度上半期会計監査
平成29年度第2回4支部会計担当役員との打ち合わせ
認定看護管理者教育課程セカンドレベル開講式(21名) |
|--|--|

これからの訪問看護が果たす役割

訪問看護ステーションむらやま
(出向元：山形県立河北病院) 鈴木 崇文

この度は、訪問看護サービス提供体制整備事業の活用により「訪問看護ステーションむらやま」へ出向研修の機会を与えていただき感謝申し上げます。

利用者が住み慣れた環境に適応できるよう介入する事で、ADLの維持はもとより慢性疾患の急性増悪の予防など、在宅医療の持つ力と可能性を認識しているところです。

さて、少子高齢化の進展を背景とする次期同時改定に向けた検討項目の1つに「医療機能の分化・連携強化、地域包括ケアシステムの構築の推進」があり、その中に「医療と介護の連携」が掲げられています。特に連携が求められる局面として「退院支援」「日常療養支援」「急変時の対応」「看取り」の4つがありますが、訪問看護には全ての局面が含まれていることから、「医療機関から在宅への円滑な移行支援に係る訪問看護の提供体制」「在宅での療養生活を送るための訪問看護の24時間対応や急変時対応」



訪問先でリハビリ前のストレッチ

「訪問看護における医療職と介護職の連携」を課題として位置づけ議論されています。

地域包括ケアシステムの推進には、入院医療から在宅医療へのシフトと同時に人材確保が必要となります。医療・介護の担い手が減少する中であって訪問看護ステーションの事業規模の拡大や、医療機関が担う訪問看護拡大の仕組みを考えていかなければなりません。山形県地域医療構想や次期同時改定に向けた議論を踏まえて、持続可能な地域医療の一助となれるよう残りの研修を有意義なものにしたいと思います。

小規模施設で働く看護職対象の研修会～転倒転落予防と環境調整～を開催して

医療看護安全対策委員長 羽賀 美和子

医療・看護安全対策委員会は、「県民に安全で、安心できる保健・医療・福祉サービスを提供するための教育・啓発活動を行う」ことを目的に活動しています。活動内容の1つに「安全に関する研修の企画・運営」があります。今年度は医療・介護安全推進のため、100床以下の病院・施設で働く看護職を対象とした「転倒転落予防と環境調整」と、看護職のみならず多職種も対象にした「医療安全スキルアップ研修-医療メディエーション-」の2つの研修を企画しました。

今回は8月24日に開催した「転倒転落予防と環境調整」について報告します。受講者65名のうち30名が老健施設や訪問看護ステーションなど病院以外からの参加で、講師には順仁堂遊佐病院の副看護部長(CNA) 佐藤典子さんをお招きしました。講義では「その人の生活を知ること」で転倒転落が予防できること、また万が一転倒した場合でも「大怪我とならないような環境をつくること」の重要性を学びました。グループワークではKYT(危険予知トレーニング)を行いました。「KYTを行うのは初めて」という受講者も多くいましたが、「こういう対策も必要だね」など活発な意見が交わされました。アンケートには、「他施設の方と交流できてよかった」「患者の生活に着目して予防策を取り入れたい」と感想が寄せられており、また委員もファシリテーターとして参加することで各施設の取り組みを知る機会となりとても学びの多い有意義な研修会となりました。

委員会では、今後も会員の皆様と社会のニーズに沿った研修企画と新しい情報提供をしていきたいと考えています。



グループワークの様子

秋の叙熱

- ◆阿部 恵子様 (元鶴岡市立荘内病院看護部長) 瑞宝双光章
◆大谷 和子様 (元山形大学医学部附属病院看護部長) 瑞宝双光章
◆佐藤 三紀様 (元日本海総合病院副院長兼看護部長) 瑞宝双光章
◆神野 光子様 (元山形市立病院済生館看護部総務長) 瑞宝単光章



地域の看護職連携の取り組み



今年度、当協会では県内4地域で看護職連携の事業を展開しています。それぞれの地域で、病院・訪問看護ステーション・高齢者施設等の看護管理者、保健師、看護協会支部長が連携し、地域の課題共有や施設間の人事交流、住民参加のイベント開催などに取り組み、切れ目のない医療と介護の提供を推進し、地域住民への支援の資質向上を目指します。

＊日本看護協会「都道府県看護協会地区支部等における高齢者及び認知症者支援のための看護職連携構築モデル事業」に取り組んでいます。

「置賜地域看護管理者会」代表 若月裕子氏（米沢市立病院副院長兼看護部長）

＊山形県看護協会独自で「地域の看護力強化支援事業」を立ち上げ、2次医療圏ごとの看護職の連携に5万円を助成する事業に3地域で取り組んでいます。

「西北村山地域看護力連携会」代表 後藤道子氏（県立河北病院副院長兼看護部長）

「最上地域看護管理者ネットワーク会議」代表 加藤多美子氏（県立新庄病院副院長兼看護部長）

「庄内地域看護管理者ネットワーク会議」代表 佐藤由枝氏（日本海総合病院副院長兼看護部長）

（山川理事 記）

平成29年度 地域における看護職のネットワーク強化事業

今年度、日本看護協会より上記事業を受託することになりました。この事業は職能団体として、看護職に関わる様々な課題の解決を進め、地域の各実践の場において、看護職が的確に役割を果たすために職能間の連携を強化し、地域の看護政策の実現の基盤を醸成することを目的に事業展開されます。

事業内容としては、看護職のネットワーク強化、アウトリーチ活動などがあります。ネットワーク強化として、新人看護職交流会を置賜支部で11月20日、最北支部で11月27日、庄内支部で12月4日、山形支部で12月8日に開催する予定にしています。新人看護職間のネットワークの基盤が図られ、看護師として働くモチベーションを高められればと考えています。アウトリーチ活動としては、看護学校の訪問などを通して看護協会の活動等を周知していきます。また、会員拡大も重要な目的であるため、新たな看護協会PR媒体の作成も手掛けていこうと思います。次年度以降も活動を継続いたしますので、成果が得られる事業にしていきたいと考えています。

（小松理事 記）

訪問看護サービス提供体制整備事業(担い手創出事業)の取り組み

平成28年度日本看護協会のモデル事業（訪問看護人材活用試行事業）を受託、山形県立河北病院の看護師が訪問看護ステーションやまがたに3か月間在籍出向し訪問看護の看護ケアの実際を知り、在宅療養へ移行する患者の退院支援に必要な知識や技術を習得しました。病院は、看護部はじめ病院全体で在宅医療推進に向けて取り組んでおり、タイムリーな事業と位置付け、看護師の配置替えをして臨み、在宅可能な患者像が広がり在宅サービスや多職種連携の理解ができ、マスコミや広報誌に事業を取り上げられ県民に対して訪問看護の情報発信の機会となり、訪問看護の周知につながったと思われます。

今年度は山形県の基金を活用し、「訪問看護担い手創出事業」を展開しています。病院管理者、事務局、看護管理者等が事業趣旨を理解し、看護師確保が大変でありながらも在宅を学ばせたいと看護師を出向させてくれています。現在3か所で行っています。



○町立真室川病院から訪問看護ステーション新庄へ

（平成29年7月1日～6か月間）

○県立河北病院から訪問看護ステーションむらやまへ

（平成29年9月1日～3か月間 2人）

○寒河江市立病院から訪問看護ステーションまいづる

（平成29年10月1日～3か月間）

（鈴木理事 記）

外来看護研修を受講して

北村山公立病院 西塚 元子



私はこれまで病棟勤務がほとんどで、外来勤務経験は5年間と短い期間でしたが、そこで患者さんに対する視点が変わりました。病棟勤務中はなかなか入院前や退院後の生活、通院の状況、他施設との連携など良く見えていませんでした。外来勤務することで1人の患者さんを様々な角度から理解し支援していくことが必要であると感じました。しかし、忙しい外来では業務優先となり患者さんと接する時間が限られています。そのような状況で外来看護の役割や地域包括システムにおける外来看護をプロデュースするのはどんなことなのか、研修テーマに興味をそそられ参加いたしました。「自分らしい暮らしを人生の最期まで続けること」は、入院せず症状管理しながら地域や在宅で療養することであり、そこで重要な役割を担うのが外来です。外来での療養指導や相談対応の充実により、療養者が自ら行う症状管理などを支援することにつながります。地域包括システムの中における外来の位置づけや役割、病棟や地域との連携は、訪問看護や退院支援などの進捗と比較して立ち遅れているそうです。当院でも全く同様の状態なので、今回の研修を活かして地域・在宅看護の視点を持った外来看護のプロデュースを目指していきたいと思っています。

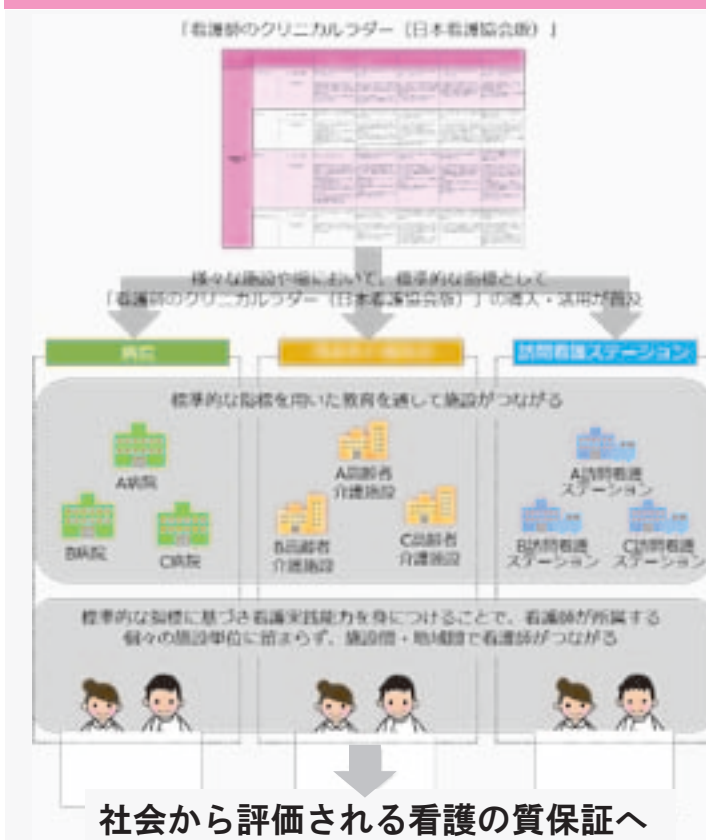
「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）を活用した組織内教育」を実施して

教育研修課 國分 理恵

日本看護協会は2025年に向けて、すべての健康段階で切れ目のない看護提供システムの実現に向け、「基盤となる看護実践能力の強化」「働く場・働き方の多様性の理解と推進」をすすめるために、2016年5月「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会）」（以下JNAラダー）を公表しました。今回は定員の100名を超える受講者があり関心の高さがうかがえる中、JNAラダーの開発に長年携わっておられる日本看護協会教育研究部の渋谷美香先生をお招きし、導入までの経緯や目的・意義、そして自施設においての導入、活用方法などについてご講義いただきました。先生の講義は、事例を取り入れながら一つ一つ丁寧に噛み砕いて説明してくださるため大変わかりやすく、また多数の質問に的確に答えてくださったため、自施設で実践する動機付けと原動力になりました。JNAラダーはⅠ～Ⅴの5つの習熟段階に区分されたレベルと、看護実践能力の部分が核となる4つの力（ニーズをとらえる力、ケアする力、協働する力、意思決定を支える力）から構成されており、これらを各施設の環境に合わせ作成していく作業となります。JNAラダーが提示した看護実践能力のコンピテンシーは、あらゆる施設における看護師の実践能力の質を担保・保証できるものであり、患者や利用者等へ安全で安心な看護ケアの提供につながります。

これからも時代が求める看護実践能力を定義したJNAラダーの導入・活用をすすめていきたいと思っています。

「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）」が目指す将来像



性の健康教育研修会を終えて

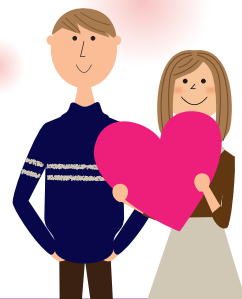
性の健康を支援する委員長 豊田 茉莉

平成29年8月19日(土)に、性の健康を支援する委員会企画の研修会を開催しました。今回は、NPO法人ハーティ仙台代表である八幡悦子先生をお迎えし、「思春期の子も達を性暴力被害から守るために」と題してご講演いただきました。特に、性暴力被害の現状や被害を防止するために教育が必要であること、看護職の役割等について、実例などを紹介したお話をいただきました。八幡先生のユーモアを交えながらのわかりやすい説明に、参加者一同が引き込まれ、楽しく学ぶことができました。

参加者らは、「性暴力の現状を知ったからこそ、性教育についての関心が高まった」、「仕事だけでなくプライベートでも役に立つ内容だった」、「自分を大切にすること、自分自身を守ること、その大切さを伝えていく機会を増やしていくことができれば良いと思った」などの意見が寄せられ、大変好評でした。この研修会での学びが今後の性の健康教育活動や参加者個々の生活に活用できることを期待しております。



研修会でのロールプレイの様子



山形県を支えるのに力を貸してください! 災害看護対策委員会

東日本大震災や熊本地震、台風や豪雨災害など日本では毎年のように全国各地で深刻な災害が起こっています。都道府県の看護協会に登録し看護職能団体の一員として災害時に看護活動を行う看護師のことを災害支援ナースといい、現在、全国で9345名が登録されています(平成29年3月現在)。平成28年の熊本地震では計1961名が避難所など32ヵ所で支援活動を行いました。

ところで皆さん、山形県の災害支援ナースの登録者数をご存知ですか?平成29年3月の時点で61名、47都道府県中44位、毎年増加傾向にはありますが…非常に少ないというのが現状です。

被災県看護協会のみで看護支援活動が可能なレベルに必要な災害支援ナースの数は最低100名と言われています。このままでは山形県で発生した災害に対し、県内の看護職のみでは対応が困難となる可能性があり、防災対策の基本理念である『自助、または共助』がままならない状況であると考えます。

災害のニュースを見て「私も被災地や被災者の役に立ちたい!」と思っている看護職の方は多いのではないのでしょうか?災害支援ナースに登録して私たちと一緒に活動してみませんか!

山形県・酒田市合同防災訓練

毎年行われている山形県と市町村との合同防災訓練が今年は9月3日(日)に酒田市内で開催されました。災害支援ナース14名に加え酒田市の保健師4名にも参加していただき、「避難所開設運営訓練」と「応急救護所設置運営訓練」を行ってきました。



応急救護所ではトリアージや応急救置などをDMATや日赤救護班など参加機関と協働し行いました。

避難所では190名近い避難者への健康調査を行い、看護師と保健師それぞれの視点で避難者に関わり活動を展開しました。



研修会などで学習し身につけてきた知識を関係各所の方々と実践に沿ってシミュレーションし振り返ることのできる訓練は貴重な経験となります。

最上エリア
庄内エリア
村山エリア
置賜エリア

災害支援ナース登録者施設一覧

庄内エリア 15人

医療法人社団山形愛心会 庄内余目病院
庄内医療生活協同組合 鶴岡協立病院
鶴岡市立庄内病院
山形県酒田市病院機構 日本海総合病院
山形県立こころの医療センター
庄内保健所

最上エリア 7人

医療法人徳洲会 新庄徳洲会病院
山形県立新庄病院
最上保健所 その他

村山エリア 20人

北村山公立病院
医療法人社団松柏会 至誠堂総合病院
医療法人篠田好生会 篠田総合病院
特定医療法人社団みゆき会 みゆき会病院
山形県立中央病院
医療法人徳洲会 山形徳洲会病院
独立行政法人 国立病院機構山形病院
医療法人社団明山会 山形ロイヤル病院
医療法人社団丹心会 古岡病院
村山保健所 その他

置賜エリア 19人

公立置賜総合病院
一般財団法人 三友堂病院
米沢市立病院

H29年3月現在 合計 61人

なお、山形県看護協会 災害支援活動要綱が各施設へ配布されています。登録申請用紙はホームページよりダウンロードできます。興味のある方はこちらからどうぞ。



山形支部

活動状況

山形支部研修会と「まちの保健室」を開催して

山形支部長 高野 俊子

平成29年8月5日(土)、山形済生病院「健康増進センターめぐみ」において第1回山形支部研修会を開催しました。第1部では井上栄子会長より、「看護協会の動向」についてご講話をいただき、「看護協会のビジョンについて知ることができた」「今後に活かしたい、もっと聞きたかった」という感想が寄せられました。第2部では、遠藤美子先生より、「ボディメイクで心身のリフレッシュとスタイリッシュな体づくり」と題して、ストレッチと筋力トレーニングを合わせた体操を指導していただきました。「心と体のゆがみが取れ、とても良かった」「健康管理に留意して仕事を頑張りたい」などの声が多数ありました。

9月30日(土)には、第2回山形支部研修会を開催し、「かみのやま市クアオルト健康ウォーキング」についてご講演をいただき、ウォーキング体験を行いました。自分の生活スタイルを考え直す良い機会となり、楽しく学ぶことができました。



“恋人の聖地”に 第2回研修会



クアオルト体験ウォーキング 第2回研修会



井上会長講話 第1回研修会



おなか、ひっこめ! 第1回研修会

「まちの保健室」事業は地域住民の健康づくりをサポートし、健康意識の向上と健康の保持増進に寄与することを目的に行われています。毎月1回の常設型と年2回のイベント型があり、平成29年6月18日(日)には、さくらんぼマラソン大会会場である「チェリーナさがえ」において開催しました。内容としては、血圧・体脂肪測定、血管年齢、骨ウエーブのチェックの他、ハンドマッサージ、救急看護認定看護師・BLSインストラクターによるAED使用法や救急蘇生法の体験などが行われました。市報のPR効果もあり、来場者は140名を超え大盛況となりました。

今後も会員の皆様の意見が反映され参加できるような研修会の開催と、地域に貢献できる支部活動をしていきたいと思っています。

最北支部

活動状況

研修会と「まちの保健室」を開催して

最北支部長 斉藤 貴美子

教育委員 岡崎 和子

最北支部では7月12日(水)に第1回支部研修会を開催しました。始めに県看護協会井上会長より「看護職が地域を変える、看護のつながりを大切にしてネットワークをつくろう」と題し、ご講演をいただきました。教育研修は、北村山公立病院神経内科医長の中嶋信人先生より「認知症と睡眠障害の基本的捉え方」と題し講演していただき、テーマ・内容とも身近なもので大変わかりやすかったと満足された意見が多く聞かれました。リフレッシュ研修は、ラ・ヴィータのインストラクター 郷保 勇氏により膝・腰・肩スッカリ体操で楽しくリフレッシュすることが出来ました。研修会の参加者は41名でしたが、多くの方が内容に対して好評価でした。

「まちの保健室」は9月10日(日)県立新庄病院、10月9日(月)甕葉プラザを会場に実施しました。病院まつりや健康まつりと併せての実施だったため、新庄会場は15名の参加がありました。健康チェックとして、血管年齢・骨密度・体組成・血圧測定と健康相談を行いました。



まちの保健室(新庄会場)



井上会長の講演



膝腰肩スッカリ体操

これからも多くの会員の皆様が参加できるような研修会や地域の方も参加できるように支部活動を充実させていきたいと思っています。

平成30年度山形県看護協会 改選役員及び推薦委員並びに支部役員 平成31年度日本看護協会 代議員及び予備代議員への立候補・推薦について

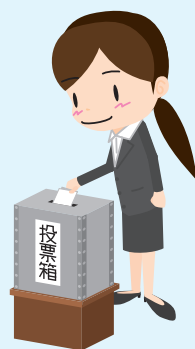
選挙管理委員会からのお知らせ

選挙規則第12条に基づき、選挙の公示を行います。

平成30年6月22日（金）に開催される平成30年度通常総会（於：山形県看護協会会館）において、山形県看護協会の改選役員及び推薦委員並びに支部役員、平成31年度の日本看護協会代議員及び予備代議員の選挙を実施します。下記の通り、立候補、推薦の受付期間についてお知らせいたします。

★改選役員名・人数 （役員任期は1期2年）

- 副会長候補者1名 常任理事候補者2名 書記担当理事候補者1名 会計担当理事候補者1名
助産師職能理事候補者1名 看護師職能Ⅱ理事候補者1名 監事候補者1名
- 支部理事候補者 山形支部1名 最北支部1名
- 全区理事候補者1名
- 推薦委員候補者3名
- 支部役員
山形支部 副支部長候補者1名 書記担当役員候補者1名 会計担当役員候補者1名
最北支部 副支部長候補者1名 書記担当役員候補者1名 会計担当役員候補者1名
庄内支部 副支部長候補者1名 書記担当役員候補者1名 会計担当役員候補者1名
置賜支部 副支部長候補者1名 書記担当役員候補者1名 会計担当役員候補者1名
- 日本看護協会代議員候補者8名 予備代議員候補者8名



★受付期間など

立候補される方は、正会員3名以上の推薦を受けて、立候補届出書（様式第1号）及び立候補者推薦書（様式第2号）を選挙管理委員長に届けてください。届出用紙の様式第1号、第2号はホームページよりダウンロードするか、協会事務局に申し出てください。（☎023-685-8033）

【届 出 先】 〒990-2473 山形市松栄1-5-45 山形県看護協会選挙管理委員長あて

【届出締切日】 平成30年3月31日（土） 郵送の場合は当日消印有効

★選挙期日及び場所 平成30年6月22日（金） 山形県看護協会会館

推薦委員会からのお知らせ

会員各位におかれましては、次の項目に該当する方をご推薦ください。

なお、ご推薦頂いた方につきましては、推薦委員会で協議のうえ、候補者として推薦を確定させていただきます。

※改選役員名・人数 選挙管理委員会からのお知らせと同じ

※推 薦 基 準 (1) 本会の目的達成のため活動に積極的に取り組み、任務を遂行できる人
(2) 本会が定めた会議に出席できる人

※注 意 事 項 あらかじめ、ご本人の意思を確認したうえで、ご推薦ください。

「届 出 先」 〒990-2473 山形市松栄1-5-45 山形県看護協会推薦委員長 あて

「提出締切日」 役員について…平成29年12月28日（木）

支部役員、推薦委員、日本看護協会代議員及び予備代議員…平成30年1月19日（金）

郵送の場合は、当日消印有効

※推薦書は、ホームページからダウンロードするか、山形県看護協会事務局にお問い合わせください。
電話 023-685-8033



ワーク・ライフ・バランス《仕事と生活の調和》憲章

WLBが実現した社会の姿とは、「国民一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすと共に、家庭や地域生活においても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて、多様な生き方が選択・実現できる社会」

寒河江市立病院 庄司 英美子

平成29年9月22日（金）、山形県看護協会主催の『平成29年度医療職のワーク・ライフ・バランス推進ワークショップ』が、最上 総合支庁で開催されました。

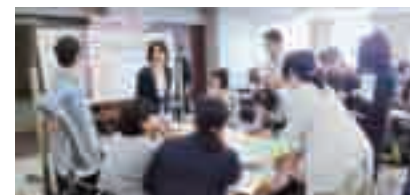
看護職のWLB推進ワークショップ事業に、活動3年目のみゆき会病院、医療勤務環境改善支援センターと連携したWLB推進モデル事業に活動2年目の最上町立病院、町立真室川病院、寒河江市立病院の3病院が参加しました。

午前中は、WLB推進活動を始めて5年目となる順仁堂遊佐病院・副院長兼看護部長の信夫松子さんの講演が行われ、WLBの考え方や実際の取り組み、そして現在の課題などのお話がありました。

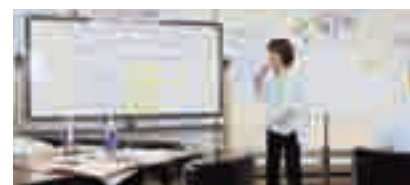
その後、それぞれの施設ごとに個別ワークが行われ、1年間の取り組みの評価と課題、そして次年度の計画などについて話し合われ発表しました。

それぞれの施設ごとに工夫されたWLB推進活動を伝える掲示物や施設内の職員制度を記載した手帳の発行、定時に帰るための“かえる（帰る）バッジ”や“ふくろう（見守り）バッジ”の作成など、様々な取り組みが行われています。

WLBは経営戦略の1つとも言われます。WLB推進活動に取り組むことで、看護師だけでなく施設内で働く全ての職員が仕事に意欲的に取り組むことができ、仕事以外の生活も充実させる事が重要です。ワーク（仕事）とライフ（生活）のハーモニー（調和）を目指して、WLBをみんなで作り上げていきましょう。



活発な意見交換



工夫された取り組みの発表

必見!

～平成30年度会員手続きが始まります～

平成29年度から「ナースシップ」システムが稼動し、皆様のご協力によりスムーズな運営ができており、感謝申し上げます。

平成29年11月より平成30年度の手続きが始まりますので、下記についてご確認をよろしくお願いします。



◇平成29年度の対応

- 1) 各施設代表者は施設WEBをご覧ください。 “未納入者”に入会・退会の意志をご確認ください。そして、**入会の場合は早急に会費納入を、退会の場合は永年会員証を添えて退会手続き**をお願いします。

平成29年度の手続きは随時受け付けておりますが、平成30年度の継続申請が始まりますので、早めに手続きをお済ませください。



◇平成30年度入会について

- 1) 平成30年度継続手続きの案内が11月から各施設・各個人会員に送られます。各施設代表者の方は各会員へ配布をお願いします。**平成30年度から継続申請書の提出は不要**です。**会員情報変更のみの提出**となります。すでに退職された会員の申請書が含まれていましたら、お手数ですが山形県看護協会まで返却をお願いします。



- 2) **平成30年度（H30.4.1～）他県に移動が決まっている方は**、移動先で入会するようお勧めします。県協会費が移動先でも発生する場合があります。口座振替で該当する方は**平成30年1月29日（月）が振替日**となっておりますので、**12月25日（月）**まで山形県看護協会にご連絡ください。引落を保留といたします。
- 3) **平成30年度（H30.4.1～）口座振替で退会を希望の方は**、**平成30年1月29日（月）が振替日**となっておりますので、**12月25日（月）**まで山形県看護協会に**退会届**（永年会員証を添えて）を提出くださるようお願いいたします。**銀行振込及びコンビニ払いで退会希望の方は**、会費を振込まない、コンビニ払いで納入しないこととなりますが、**退会届**（永年会員証を添えて）の提出は必要です。退会届は山形県看護協会HPよりダウンロードできます。

◇施設代表者の方へ

入会申込書を送る際の「**私書箱宛送付状**」の様式が変更になりました。ホームページの新着情報に様式をアップしましたので、今後の送付時にご利用ください。

ナースセンターだより

山形県ナースセンターは、看護職と求人施設をサポートします!!

看護学生フレッシュ説明会・看護学校等進学セミナー 終了しました!!



8月12日(土)、山形テルサにて「看護学生フレッシュ説明会・看護学校等進学セミナー」を開催しました。看護学生フレッシュ説明会では、53病院41ブースの病院が参加され、学生の皆さんは、募集要項や病院見学についてなど目を輝かせながら熱心に説明を聞いていました。今年度、初の試みとして開催した、「看護学校等進学セミナー」には県内7校の看護学校等に参加いただき、看護学生を目指す中・高校生やその保護者などが各学校の特色や受験科目などを質問し、将来の夢に向かって少しずつ準備をされているようでした。

学生の皆さん、自分の夢に向かって頑張ってくださいね!!



看護学校等進学セミナーの様子

ふれあい看護体験 参加施設：77施設 参加者：471人

ふれあい看護体験は、「市民と医療関係者などが交流して、医療や看護について考えるきっかけを作ること・世話すること・看護することに理解と関心を深めること」をねらいとして、平成4年から開催しています。

今回、看護体験をさせていただき改めて看護師という仕事はたくさんの人と関わるとても素敵な仕事だなと感じました。また、常に親身になって話を聞く看護師さんの姿を見てさらに憧れを持ち、看護師になりたいという気持ちが強くなりました。高校生活を充実させ、どんな時でも患者さんに寄り添える看護師を目指して努力していきたいと思ひます。



今回の看護体験で学んだことは、「人の心に寄り添うことの大変さ」です。コミュニケーションをとる度に、どんな言葉が必要かどんな行動をすべきか、求めている行動を自分で考えて動くということに苦労しました。感謝の言葉や笑顔にとってもやりがいを感じました。今回の経験を活かし、「人の心に寄り添える看護師」を目指していきたいです。

今年度参加者の声をご紹介します!



※本文中の写真と筆者は同一と限りません。



5月12日は看護の日

山形県ナースセンターで

看護職のみなさんに人気のある!お仕事ベスト3をご紹介します

- 第1位 マラソン大会やコンサートなど1日限定のイベント救護**
- 第2位 健康診断の介助や採血業務**
- 第3位 週3~5日程度のクリニックや介護施設などでのパート勤務**

山形県ナースセンターでは、看護職の方々が自分のライフスタイルに合ったお仕事探しが可能になるよう、色々なお仕事をご紹介します。子育てが落ち着いて、フルタイムで仕事したいという方はもちろん、子供が小さくて夜勤や土日祝日などの勤務ができない…、退職して自分の時間も大切にしたい…とお考えの方も、山形県ナースセンターの職員がご相談に応じます。ご興味のある方は、是非、ご登録をおすすめします。



他には、こんなお仕事もありますよ。

- ・土日祝日休み、日勤だけの病院での外来・病棟勤務
 - ・曜日限定のクリニックでの勤務
 - ・クリニックや介護施設などでの短時間勤務（1日3時間程度など）
 - ・児童の体験学習への付き添い・・・など
- (※時期によって求人登録の内容が変わることがあります。)

*こんなお仕事がしてみたいわ~とお考えの方は…ぜひ、「とどけるん」や「eナースセンター」へ登録しましょう!

途中で退職される皆様へ

離職時には是非、「とどけるん」にご登録ください。ナースセンターに届け出ただくことで、再就職に向けた研修会や看護に関する情報などをお送りいたします。

- ①パソコンからの登録
- ②スマートフォンからの登録
- ③山形県看護協会ホームページから所定の用紙をダウンロードし、山形県ナースセンターに郵送後、代理登録

詳細については、**とどけるん** を検索

ご興味のある方、説明を聞きたい方は、山形県ナースセンターまでご連絡ください。

看護の仕事相談会 開催のご案内

山形県ナースセンターでは、県内9か所のハローワーク等で「看護の仕事相談会」を開催しております。就職相談、ブランクのある方への再就職に関する相談や研修のすすめ、お仕事の悩みに関する相談、看護職をお探しの求人施設の相談など、看護職の相談員が対応します。ナースセンターへの登録・相談は無料です。是非お立ち寄りください。

開催場所	開催日	開催時間
ハローワークやまがた	12/8 (金)・1/12 (金)・2/9 (金)	10:00 ~ 12:00 13:00 ~ 15:00
ハローワークプラザやまがた	12/26 (火)・1/23 (火)・2/27 (火)	
ハローワーク村山	12/25 (月)・1/22 (月)・2/26 (月)	
ハローワーク寒河江	12/6 (水)・1/9 (水)・2/5 (水)	13:00 ~ 15:00
	1/19 (金)・2/16 (金)	
ハローワーク新庄	12/5 (火)・12/19 (火)・1/16 (火)	10:00 ~ 12:00 13:00 ~ 15:00
	2/6 (火)・2/20 (火)	
ハローワーク鶴岡	12/13 (水)・12/27 (水)・1/10 (水)	
	1/24 (水)・2/7 (水)・2/28 (水)	
ハローワーク酒田	12/14 (木)・1/11 (木)・2/8 (木)	
ハローワーク長井	12/15 (金)・1/19 (金)・2/16 (金)	
ハローワーク米沢	12/26 (火)・1/25 (木)・2/22 (木)	

山形県ナースセンター (山形県看護協会内) ☎023-646-8878 (直通) FAX023-643-5727
e-mail:yamagata@nurse-center.net



第3回 看護技術セミナー・ナースカフェ

in 新庄

～静脈採血の復習をしてみましょう～

8月29日(火)、看護技術セミナー・ナースカフェを開催し、7人の看護職の方にご参加いただきました。ブランクのある方、看護技術に不安のある方など、熱心に取り組んでいました。ナースカフェでは、ナースセンターで取り扱う求人について、様々なライフスタイルに対応した多様な勤務形態があることなど参加者に紹介しました。



皆さん、熱心に採血しています

～次回のお知らせ～

- ◆日時 平成29年12月7日(木) 9:30~12:30
- ◆ところ 山形県看護協会会館
- ◆お申込み 山形県ナースセンター ☎023-646-8878

平成29年10月1日施行

改正育児・介護休業法のポイント

改正内容1 最長2歳まで育児休業の再延長が可能になりました。

1歳6ヶ月以後も保育園に入れないなどの場合には、申し出ることにより、**育児休業期間を最長2歳まで再延長**できます。

改正内容2 子どもが生まれる予定の方などに、育児休業等の制度などをお知らせしましょう。

事業主は、労働者やその配偶者が妊娠・出産したことを知ったときや、労働者が対象家族を介護していることを知ったときに、その方に対し個別に**関連する制度(育児休業中・休業後の待遇や労働条件など)の周知をする**努力をしましょう。

改正内容3 育児目的休暇の導入を促進しましょう。

未就学児を育てる労働者に対し、**育児に関する目的で利用できる休暇制度(配偶者出産休暇、子の行事参加のための休暇など)を設ける**ように努力しましょう。

詳細はこちら 厚生労働省 改正育児・介護休業法 **検索**



お魚のおいしくなる季節！生鮮魚介類に寄生したアニサキスによる食中毒が報告される季節です。2012年12月28日、食品衛生法施行規則の一部改正でアニサキスが食中毒の原因物質の種別として食中毒事件票に追加されました。



アニサキスの特徴

- 寄生虫(線虫類)
- 約2～3cmで白色の少し太い糸状
- アニサキス幼虫が寄生している魚介類

サバ、イワシ、カツオ、サケ、イカ、タラ、サンマ、アジなど



食中毒の症状



アニサキスの幼虫が寄生する生鮮魚介類を食べた後、数～数十時間後に激しい腹痛、吐き気、嘔吐、ジンマシンなど

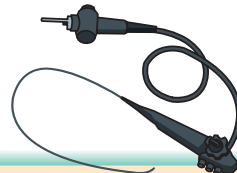
※胃けいれん、胃潰瘍、虫垂炎などの症状と類似しているので、医師の診断を受けましょう。

予防方法

- 加熱調理が最も効果的。
(70℃以上中心部まで)
- 20℃で24時間以上の冷凍(中心部まで)
- 内臓の生食をしない。
- より新鮮な魚を選び、速やかに内臓を取り除く。
※アニサキス幼虫は鮮度が落ちると、内臓から筋肉に移動することが知られている。

治療

アニサキスの幼虫は、人の体内では成虫になれないので通常は排泄されますが、発症した場合、胃カメラにて胃粘膜に穿入している虫体を見つけ、鉗子でつまみ除去します。



(広報委員作成)

information インフォメーション

平成30年度公益社団法人日本看護協会会長表彰候補者の調査について

協会ホームページに掲載しておりますとおり、日本看護協会会長表彰候補者の調査を行っております。推薦者がございましたら、協会宛てに候補者調書をお送りください。詳細は、協会ホームページの新着情報をご参照頂くか、山形県看護協会事務局までお問合せ願います。

提出期限：平成29年11月15日(水)

問合せ・提出先：山形県看護協会 総務課 宛
Tel: 023-685-8033



平成29年度「今野フサ子記念奨学金」給付奨学生決まる！

平成27年度制定された「今野フサ子記念奨学金」の募集をした結果1名の応募があり、7月1日選考委員会を開き下記の方に決定しました。

大滝 久美子氏 武田医院(鶴岡市)

～図書室からのお知らせ～



平成30年1月15日～19日は蔵書点検のため休室いたします。



編集
後記

これから寒くなり、いろいろな感染症が流行する時期になりますので、皆さん体調管理に十分注意しましょう。